

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	159,732,974	流動負債	43,589,354
現金	389,489	工事未払金	17,399,117
預金	124,534,285	未払金	2,860,268
完成工事未収入金	23,955,212	未払費用	4,328,267
原材料	495,090	未払法人税等	2,662,028
未成工事支出金	8,306,768	未払消費税等	2,986,800
前払費用	401,940	預り金	515,899
未収入金	1,650,190	未成工事受入金	6,330,780
		賞与引当金	5,706,195
		役員賞与引当金	800,000
		固定負債	24,694,820
固定資産	14,628,416	長期未払金	3,790,000
有形固定資産	1,288,800	退職給付引当金	17,743,820
建物附属設備	10,003	役員退職慰労引当金	3,161,000
工具器具備品	1,278,797		
無形固定資産	399,680	負債合計	68,284,174
電話加入権	399,680	(純資産の部)	
投資その他の資産	12,939,936	株主資本	106,123,022
投資有価証券	1,431,400	資本金	11,200,000
出資金	11,000	資本剰余金	10,000,000
差入保証金	1,925,028	その他資本剰余金	10,000,000
繰延税金資産	9,572,508	利益剰余金	84,923,022
		利益準備金	2,800,000
		その他利益剰余金	82,123,022
		別途積立金	77,000,000
		繰越利益剰余金	5,123,022
		評価・換算差額等	▲45,806
		その他有価証券評価差額金	▲45,806
		純資産合計	106,077,216
資産合計	174,361,390	負債及び純資産合計	174,361,390

株式会社カナック・ビジネス・ソリューション

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等にもとづく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

原価法(移動平均法)

② たな卸資産

評価基準は原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
(未成工事支出金を除く)

未成工事支出金 ……………個別法による原価法

原材料……………総平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法

なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)及び2016年4月1日以降に取得した建物付属設備並びに構築物については、定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、実際支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

② 役員賞与引当金

役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額にもとづく当事業年度負担額を計上することとしております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、会社内規にもとづく期末要支給額を計上することとしております。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 完成工事高の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事

工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)

その他の工事

工事完成基準

② 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 5,765円07銭

(2) 1株当たり当期純利益 198円19銭